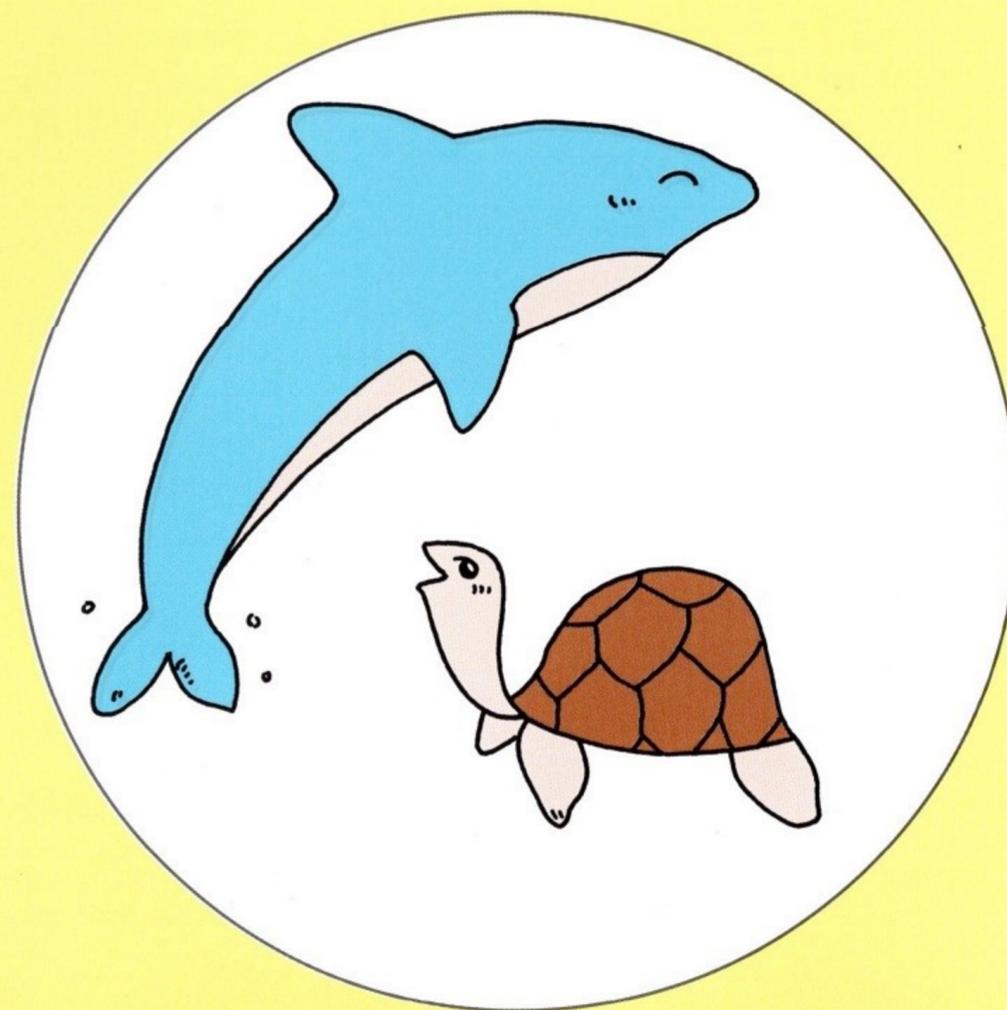


幼児のための知能開発ワーク

すくすくどんどん

8



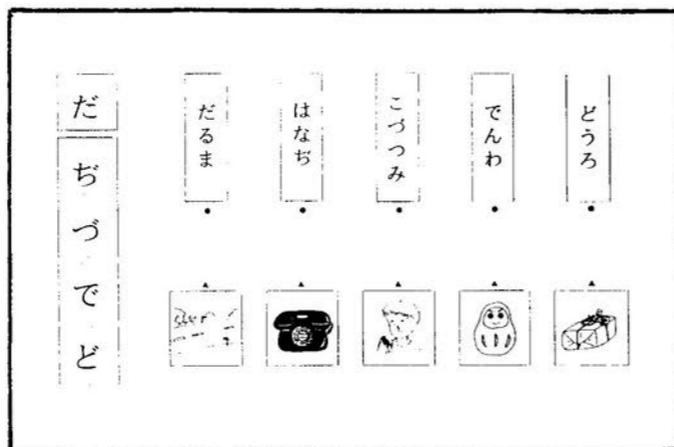
〈 目次 〉 Aシリーズ8号

分野	学習項目	ページ	学習内容
A. 言語	濁音（だ行）	1	◎濁音「だ」～「ど」の読み
		2	「´」をつけて正しいことばにする
	同尾語（は行）	3	同じ音で始まるもの（絵）をむすぶ
		4	○ひらがなのことばを読んで、それにあう絵を選ぶ
	ひらがな（な行）	5	○空所にひらがなを入れて、ことばを完成させる
		6	
	しりとり	7	しりとりになるように、絵をえらぶ
	歌	8	「とんぼの眼鏡」
B. 図形	書く（置き換え）	9	3種類のを、ルールに従って別の印にかきかえる
	欠所補完 ①	10	3つに分かれた絵をつなぐ
		11	
	位置 ①	12	具体的な物での位置
		13	
	回転図形 ①	14	回転した図形をえらぶ（箱）
		15	
	②	16	回転した図形を書き入れる（箱）
17			
③	18	観覧車	
C. 数・量	たし算 ①	18	たす6
		19	
	②	20	たす7
		21	
	③	22	まとめ（たす6、たす7）
		23	
	④	24	たす8、たす9
		25	
	⑤	26	復習
		27	
	ひき算 ①	28	2種類の物を線で結んで対応させて、あといくつ足り ないか、いくつあまるかを考える
29			
比較 ①	30	4つのもののかさを比べて、順番に並べる	
	31		
②	32	高さ・広さを数で表して比べて、順番に並べる	
	33		
③	34	重さのつりあいを考える（物の数を変える）	
	35		
D. 記憶	お話の記憶 ①	28	個々の要素の関係に着目して、記憶する
		29	
	②	30	「天狗のかくれみの」
		31	
	図形の記憶 ①（記憶）	32	図形ともの・数字の関係を記憶する
33			
②（記憶）	34	抽象図形の記憶	
E. 常識	体の部分	34	体の絵を完成する、体の各部のはたらき
	左右	35	手足の左右の判断、後ろ姿を見つける
	感情表現	36	顔の表情の判断（迷路）
	職業・生活用具	37	仕事の内容・用具をむすぶ
	系列完成 ①	38	3種類の物の連続パターン
F. その他	②	39	数字の並び（10-1）
		40	一定のルールに従って変えたものを選ぶ

1

言語／濁音（だ行）①

A 8



【問題】

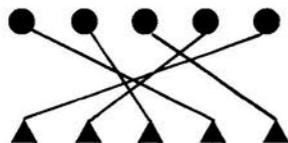
（左はしのひらがなを読んで、復唱させて下さい。）

「だ」「ち」「づ」「で」「ど」

1. 上の段のことばを1つずつ読んで、それにあう絵と線で結びましょう。
2. 上の段のことばで、最初に「だ」のつくものに、赤の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「だ」にも、赤の○をつけておきましょう。
3. 上の段のことばで、最後に「ち」のつくものに、青の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「ち」にも、青の○をつけておきましょう。
4. 上の段のことばで、「づ」がつくものに、緑の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「づ」にも、緑の○をつけておきましょう。
5. 上の段のことばで、最初に「で」のつくものに、茶色の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「で」にも、茶色の○をつけておきましょう。
6. 上の段のことばで、最初に「ど」のつくものに、紫の○をつけて下さい。
左はしのひらがなの「ど」にも、紫の○をつけておきましょう。

【解答】

1.



2. だるま
3. はなぢ
4. こづつみ
5. でんわ
6. どうろ

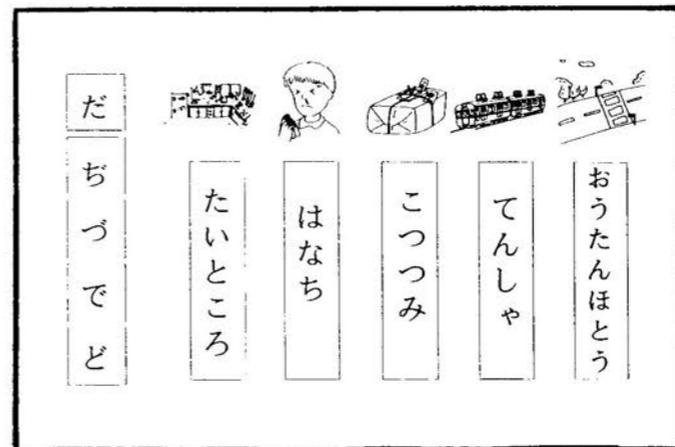
【指導のポイント】

ことばを1つずつ指で示しながら読んであげて、子どもにも復唱させて下さい。最初から無理にひらがなを読ませようとせず、読み方を耳で聞かせながら、対応する文字を目で確認させることが大切です。

2

言語／濁音（だ行）②

A 8



【問題】

ここに書いてあることばには、「ゝ」がぬけています。「ゝ」を正しくつけて、絵にあうことばにして下さい。

【解答】

（左から順に）

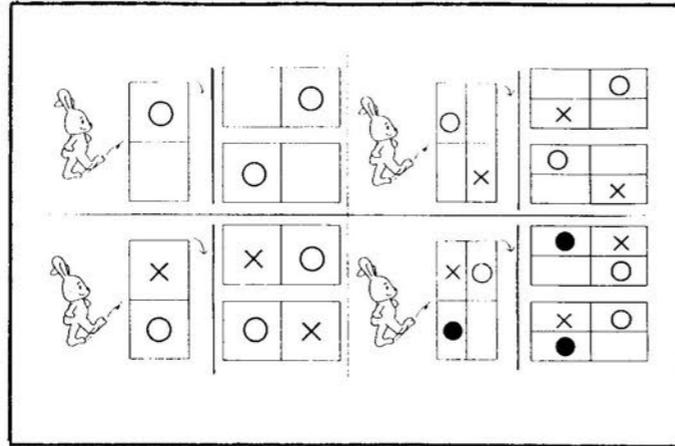
- だいどころ
はなぢ
こづつみ
でんしゃ
おうたんほう

【指導のポイント】

子どもは、このような変なことばをとってもおもしろがるものです。子どものことばへの興味をとらえて、「ゝ」をつけると音がかわることをしっかり理解させて下さい。

14 図形 / 回転図形①

A 8



【問題】

うさぎさんが箱をけったので、箱が横に倒れてしまいました。箱はどのようになるでしょう。正しいものを選んで、だいたいの○をつけて下さい。

【解答】

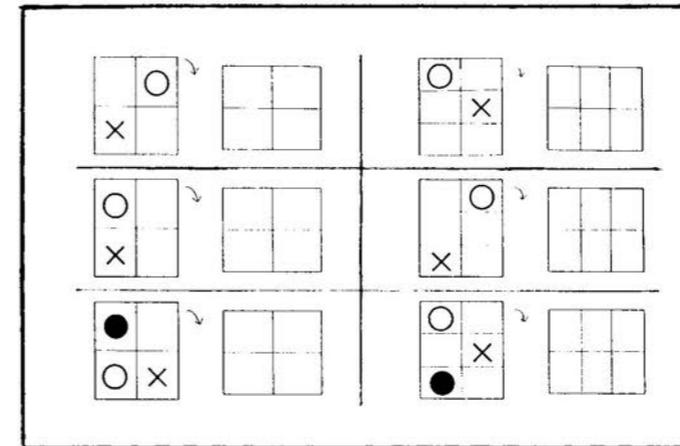
- (左上) →上
- (右上) →上
- (左下) →下
- (右下) →上

【指導のポイント】

まず、こどもに問題の意味を十分理解させましょう。最初なので、積み木などを使って実際に倒れた様子を見せてあげてから、答えを選ばせて下さい。

15 図形 / 回転図形②

A 8



【問題】

左の箱が右のように倒れると、それぞれの印はどこにくるでしょうか。その場所に、黒で印を書いて下さい。

【解答】

左上 左中 左下

右上 右中 右下

【指導のポイント】

まず、こどもに問題の意味を十分理解させましょう。最初なので、積み木などを使って実際に倒れた様子を見せてあげてから、答えを書かせるとよいでしょう。わかりにくいようでしたら、はじめの問題を例題として、お手本を示してあげて下さい。

濁音（だ行）

月	日	なまえ	
---	---	-----	--

だ

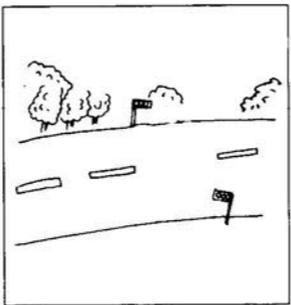
ぢ

づ

で

ど

だるま



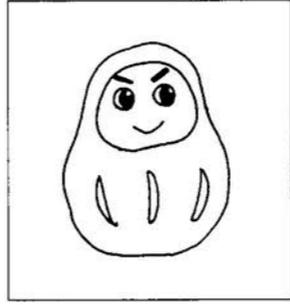
はなぢ



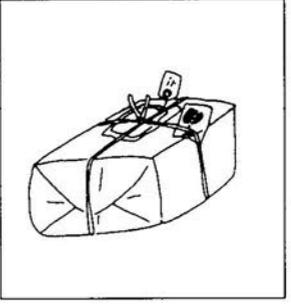
こづつみ



でんわ



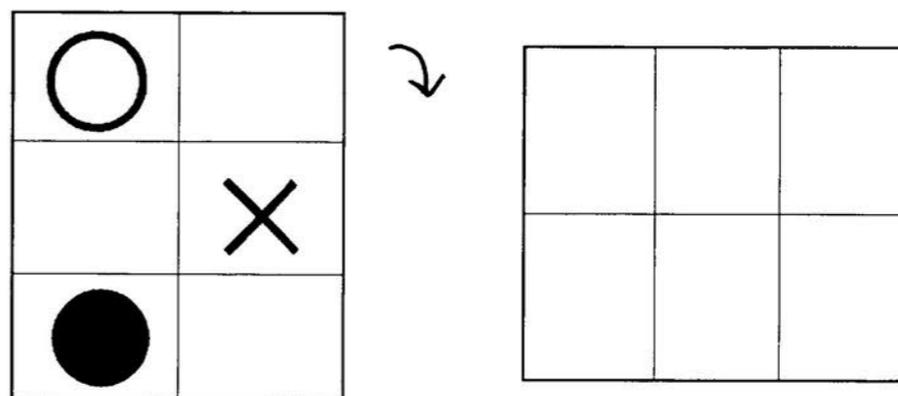
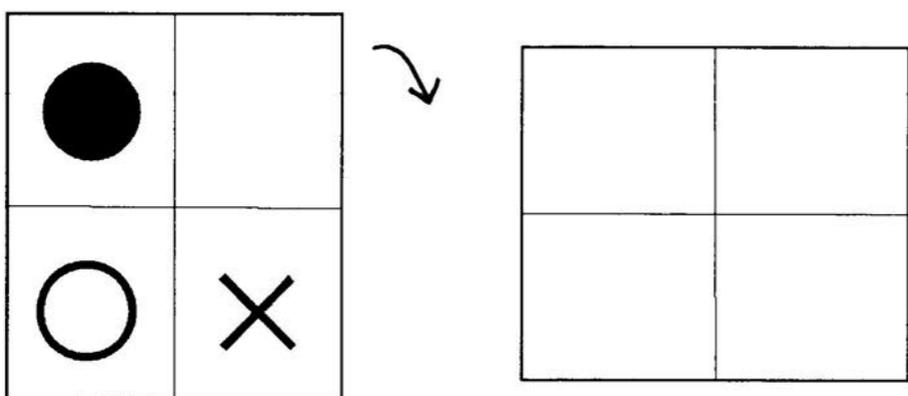
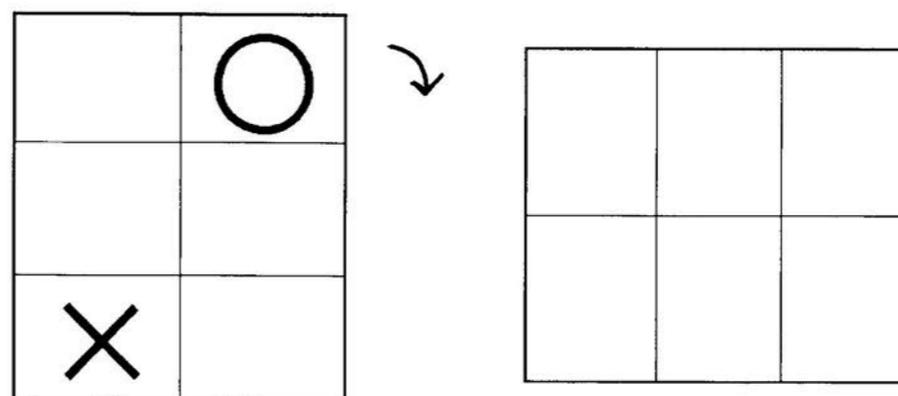
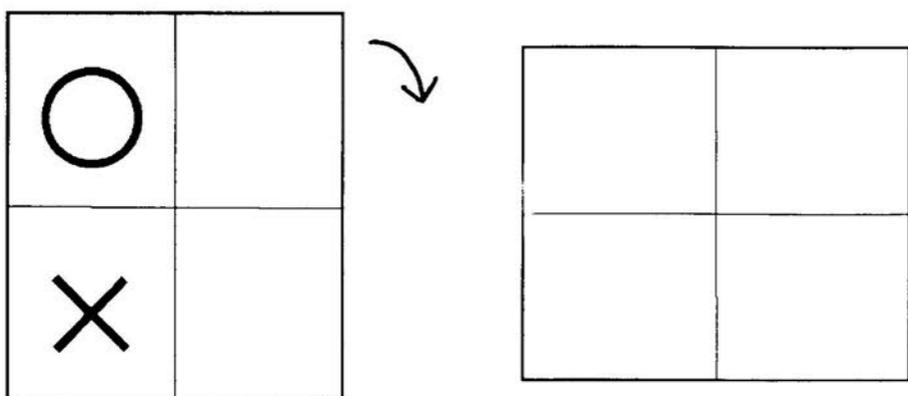
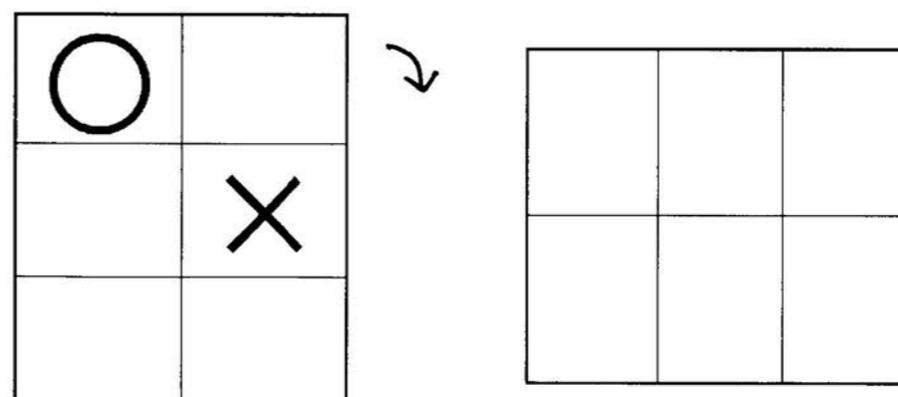
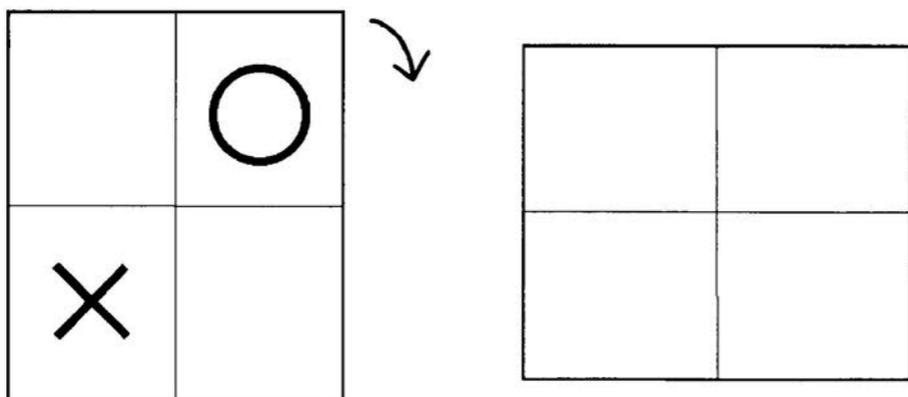
どうろ

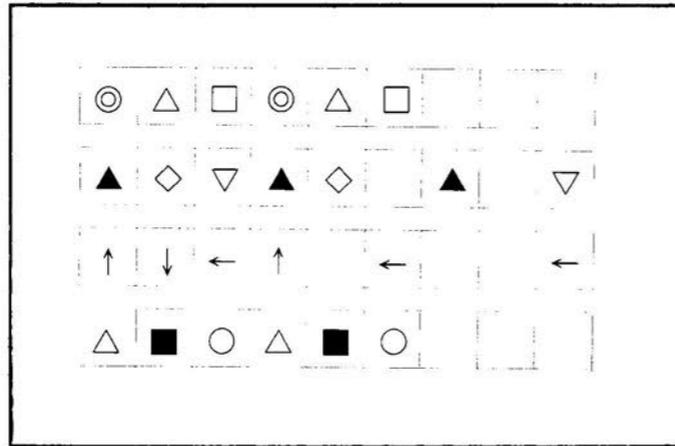


回転図形②

月 日 なまえ

A - 8 - 15





【問題】

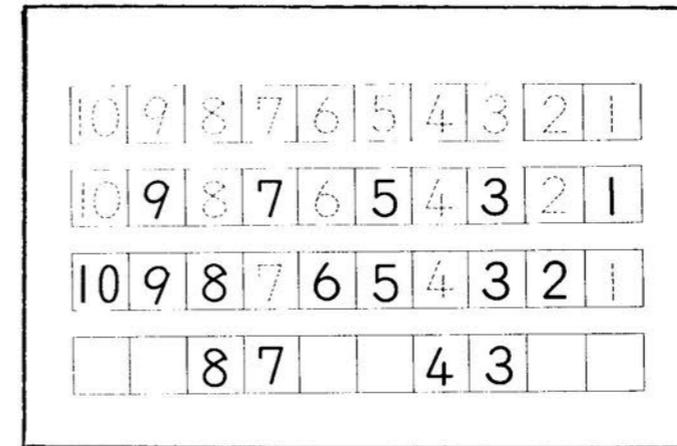
絵が順番に並んでいます。あいている所に、ちょうどよい絵を書いて下さい。

【解答】

(省略)

【指導のポイント】

今回は、3種類の連続パターンです。「○、△、□、○、△、・・・」と声に出して、並んでいる順番を言わせてみるとよいでしょう。



【問題】

1. 10から1まで、数字をなぞって書きましょう。
(書けたら、10から1まで、逆に数えてみましょう。)
この中で、4より小さい数字に黄色の○をつけて下さい。
2. ぬけているところの数字を、なぞって書きましょう。
3. ぬけているところには、どんな数字が入るでしょうか。数字を書いて下さい。
(言ってみて下さい。)

【解答】

(省略)

【指導のポイント】

数字の並びをしっかりと理解させましょう。逆唱は、ひき算の基礎にもなります。ドッツカードなどでも練習して、10から1まできちり唱えられるようにさせて下さい。

「○より小さい数」というときは、「○」は含まれないことも説明してあげて下さい。

系列完成②

月 日 なまえ

8 - 39

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

		8	7			4	3		
--	--	---	---	--	--	---	---	--	--